

充実したプログラムを実現する  
最新の設備と環境。

## 高度医療人育成センター

"研修医の医局"として初期研修医には3階全フロアが用意されています。  
『卒後臨床研修センター』の働きがより充実されました。地域の方へのセミナー・臨床技能研修・女性医師支援などを行う多目的の施設ともなっています。



### 5F 研修室

### 4F OSCE(客観的臨床技能試験)室

### 3F 卒後臨床研修センター

### 2F 臨床技能研修センター(スキルラボ)

### 1F 地域医療支援推進室(パソコンルーム)



#### 快適な研修環境

"研修医の医局"として用意されている研修医室は、平成21年12月に完成した高度医療人育成センター3階全フロアを使い、一人一人に机とLANケーブルが用意されています。

また、シャワールームやアメニティ部分も充実しています。



### Date

#### ●附属病院の特徴

和歌山県立医科大学附属病院は、高度で先進的な医療を提供し、あらゆる分野の疾患に対して総合的な診療ができる県内で唯一の特定機能病院です。また、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなど多くの指定を公的機関から受けています。手術支援ロボット「ダヴィンチ」や強度変調型放射線治療「トモセラピー」、最新型の「リニアック」、心血管疾患に対して新たに血管内治療と外科的治療を組み合わせた「ハイブリッド手術室」など、最先端医療の充実を図り、患者さんにより安全で正確な手術を提供しています。

#### ●概要

医師数(指導医): 551名(204名)/研修医: 123名  
許可病床数: 一般病床 760床 (内訳ICU10床、HCU15床、CCU5床、NICU9床、GCU18床、MFICU3床、小児センター 40床、7対1病床 660床)、精神病床40床  
標榜診療科: 27科 (糖内、消内、呼内、循内、精神、脳内、小児、心外・呼乳外、消外、脳外、整形、皮膚、泌尿器、産婦、眼、耳鼻、放射線、麻酔、リハ、歯口外、血内、救急、腎内、病理、(R2年度実績)

### Access

和歌山県立医科大学附属病院  
卒後臨床研修センター



〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1  
TEL:073-441-0575 FAX:073-441-0576  
E-mail:sotugo@wakayama-med.ac.jp  
<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

見学随時受付します



ホームページに、  
バーチャル病院見学を  
新設しました。

#### ●交通アクセス

鉄道のご利用 JRさくに線「紀三井寺駅」から徒歩約7分

新大阪	JR特急くろしお(約60分)
天王寺	JR特急くろしお(約45分) JR阪和線 快速(約65分)
関西国際空港	空港リムジンバス(約40分)

#### バスのご利用

和歌山バス「医大病院」下車すぐ  
和歌山バス・有田鉄道バス「医大病院前」から徒歩約3分  
和歌山バス「医大病院東口」から徒歩約5分  
※主要駅(JR和歌山駅・海南駅・南海和歌山市駅)から運行しています。

自由度の高いプログラムで  
実力をつけよう。  
大学病院と市民病院、  
両方を経験する。



和歌山県立医科大学附属病院

Wakayama Medical University Hospital

令和4年度採用  
研修医  
募集



# 自由度の高いプログラムで医師としてのスタートを切る。

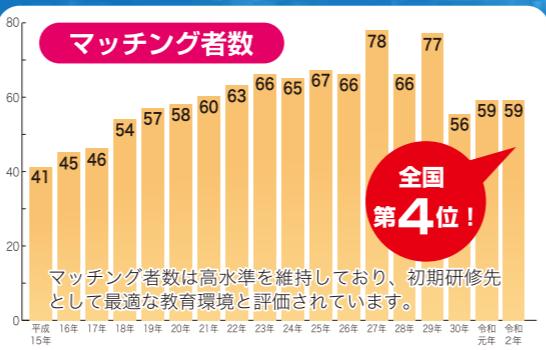
研修で大切なことは、医師としての基本を身につけることはもちろんのこと、将来、自分の進むべき方向を決定する機会と指導医との良い出会いを持つことです。本院の研修は自由度が高いプログラムが特徴で、将来を考えて自分にあった選択ができます。また、大学病院として、各診療科での高度先進医療に触れる機会から、1次から3次救急に至るまで幅広い症例を経験できる高度救命救急センターでの研修が組み込まれています。それに加えて紀北分院での総合診療をはじめ、県内外での協力病院の研修を通じて多くの疾患を経験し、実力をつけて下さい。本院での研修を通じて医師として人間として一段と成長してくれることを期待しています。

## プログラムの特徴

### 1 自由度が高い

和歌山県立医科大学は  
どのような  
研修にも  
対応できます。

### 「日本一の研修病院を目指して」



#### 出身大学

地方大学で59人もマッチしています。このうち他大学出身者は13名これは全体の22.0%になります!

他大学出身者  
**22.0%**

和歌山県立  
医科大学  
出身者  
**78.0%**

島根大学	1人
富崎大学	1人
東海大学	1人
帝京大学	1人
大阪医科大学	3人
近畿大学	3人
関西医科大学	2人
兵庫医科大学	1人
和歌山県立医科大学	46人

### 2 プライマリ・ケア能力の飛躍的UP

1次~3次まで幅広い症状の患者さんに対応する救命救急センターにて、圧倒的な質と量で研修できる救急研修こそが、プライマリ・ケア能力を飛躍的に高めます。

### 3 大学病院ならではの全科サポート、恵まれた環境

プライマリ・ケアから専門科診療に至るまで完結した研修が実現できます。

下記のローテート先を自由に選択できます。

#### 和歌山県立医科大学附属病院

- 内科系 糖尿病・内分泌・代謝内科、消化器内科、呼吸器内科・腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科(人工透析)、血液内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病科
- 高度救命救急センター(救急集中治療部)
- 選択 小児科、神経精神科、心臓血管外科、呼吸器外科・乳腺外科
- 消化器・内分泌・小児科、神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、腫瘍センター(緩和ケア)、臨床検査医学、薬物療法

#### 協力型臨床研修施設

##### ◆研修ネットワーク参加施設(全科で研修可能)

日本赤十字社和歌山医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院、和歌山生協病院、橋本市民病院、ひだか病院、独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター、紀南病院、新宮市立医療センター

#### ◆その他施設

済生会和歌山病院[内科・外科]、済生会有田病院[内科・外科]、公立那賀病院[内科・外科]、海南医療センター[内科・外科]、有田市立病院[内科]、和歌山県立こころの医療センター[精神科]、泉大津市立病院(大阪府)[小児科]、岸和田市民病院(大阪府)[内科・外科]、りんくう総合医療センター(大阪府)[全科]、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院[内科・外科]、高野町立高野山総合診療所、国立病院機構和歌山病院、白浜はまゆう病院、国保さみ病院、国保野上厚生総合病院、那智勝浦町立温泉病院、町立厚岸病院(北海道)、町立松前病院(北海道)、大島郡医師会病院(鹿児島県)、沖縄県立八重山病院附属西表西部診療所(沖縄県)、和歌山市保健所、岩出保健所、海南保健所、橋本保健所、御坊保健所、湯浅保健所、田辺保健所



附属病院長  
**中尾 直之**

## 先輩研修医のプログラム

中井真衣医師の場合  
(和歌山県立医科大学出身)



当院の研修プログラムの大きな特徴としては、研修する病院・診療科・期間を自分で決めてローテートできるという点です。大学・関連市中病院から自分の履修したい科を選ぶことができ、1人1人が自分に合った研修計画を立てることができます。志望科がすでに決まっていた私は、将来必要なスキルを身に着けられる様に、2年間の研修ローテートを自分で組み立てました。一方で、志望科が決まっていない友人は興味のある科をその都度選択して研修を進めることで、自分が将来したいことを見つけていました。2年間の研修期間は長いようで非常に短く、貴重な時間です。その時間を有効に使うために当院の研修プログラムは最も適していると感じています。自由なローテートで様々な視点から研修することができ、将来の選択肢の幅も広がります。

また、当院の研修は同期・先輩が非常に多くいることも大きな魅力です。1年目と2年目の100人を超える研修医が同じフロアにいるため、将来のアドバイスや興味のある科の情報や時には愚痴などを気軽に話し合うことができ、大変心強く居心地のいい環境の中で研修を進めています。

このように当院では自由度が高い研修プログラム、充実した研修生活を送ることができます。是非一度見学に来て、和歌山で満足した研修生活を送ってください。

#### [2年間のローテート例]

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年次	脳神経内科	精神科	心臓外科	産婦人科	血液内科	新宮市立医療センター	腎臓内科	循環器内科
2年次	救急科	(紀南病院) 小児科	(那賀病院) 呼吸器内科	(紀北分院) 地域医療 和歌山県立病院	(高野山病院) 循環器内科 麻酔科	(白浜はまゆう病院) 消化器内科	(那智勝浦町立温泉病院) 循環器内科	(橋本市民病院) 総合内科

小山史恭医師の場合  
(自治医科大学出身)



僕が感じる当院の初期研修プログラムの魅力は2つあります。1つ目はローテーションの自由度の高さです。僕はもともと外科に興味があり、最初の3ヶ月は消化器外科を選択しましたが、研修を進めるにつれて救急科に興味が湧き、途中からは救急科を重点的に選択しました。当院ではローテートする科を全て自分で選択できるため、志望に応じてその都度柔軟に研修内容を組み立てることができます。

2つ目は他大学出身者でも馴染みやすい環境であることです。僕は自治医大の出身であったため、同期に知り合いもおらず、正直不安な気持ちもありましたが、すぐに馴染むことができました。当院は他大学出身者も多く、研修医室ははわいもない話も気軽にできるため、とても和気あいあいとしておりぐれに打ち解けられる環境です。

まだまだ伝えきれない魅力はたくさんあります。少しでも当院の研修に興味のある方は、ぜひ見学に来ていただき雰囲気を感じてもらえたたらと思います。

#### [2年間のローテート例]

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年次	消化器外科	循環器科 (南和歌山医療センター)	腎臓内科	精神科	小児科	救急科
2年次	(自赤和歌山医療センター) 救急科	(自赤和歌山医療センター) 感染症内科	(自赤和歌山医療センター) 救急科	(野上厚生病院) 地域医療	麻酔科	産婦人科 (橋本市民病院) 緩和ケア科

## 卒後臨床研修の目標



卒後臨床研修センター長  
**北野 雅之**

初期研修の目標は医師としての基本的な態度、技術、知識を得ることです。最も大切なことは、自分の専門外であっても正しくトリアージし診療の方向性をつけられることだと考えています。一次医療から三次医療まで広く経験可能で、研究的診療も展開している当院は、まさに初期研修の場としてふさわしいと自負しています。

## 研修医勉強会

1年を通して各科の先生より基本的な必須知識や救急疾患のミニレクチャーが昼休みに行なわれています。また、研修医が主体となり各科の協力を得て、画像読影、心電図、実技、症例ディスカッションなど様々な勉強会を定期的に開催しています。



## 大学院入学が可能

初期臨床研修期間であっても、本学大学院博士課程での勉学との両立が可能です。

## AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコースの実施

採用時のオリエンテーションで、BLS講習を行います。この講習を修了し合格すれば、ヘルスケアプロバイダーカードが発行されます。受講料は無料です。



## 急性期医療への対応(高度救命救急センター)



当院の大きな特色のひとつである1次~3次救急では、救急専門スタッフ+各科のスペシャリストが協調して対応しています。プライマリ・ケアの能力向上をめざし、診断から治療までの完結した研修で、自己の課題に気づくことができるでしょう。

## 短期海外留学研修

希望があれば2年目に短期の海外留学研修が可能です。約4週間海外の医療と日本との違いを学び、世界的な先進医療に触れることができます。海外で活躍している和医大のOBがホスト役となって留学を手助けしてくれる安心です。

## 和歌山研修ネットワーク参加

和歌山県内の9つの基幹型臨床研修病院全てが相互に協力病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムに参加しています。